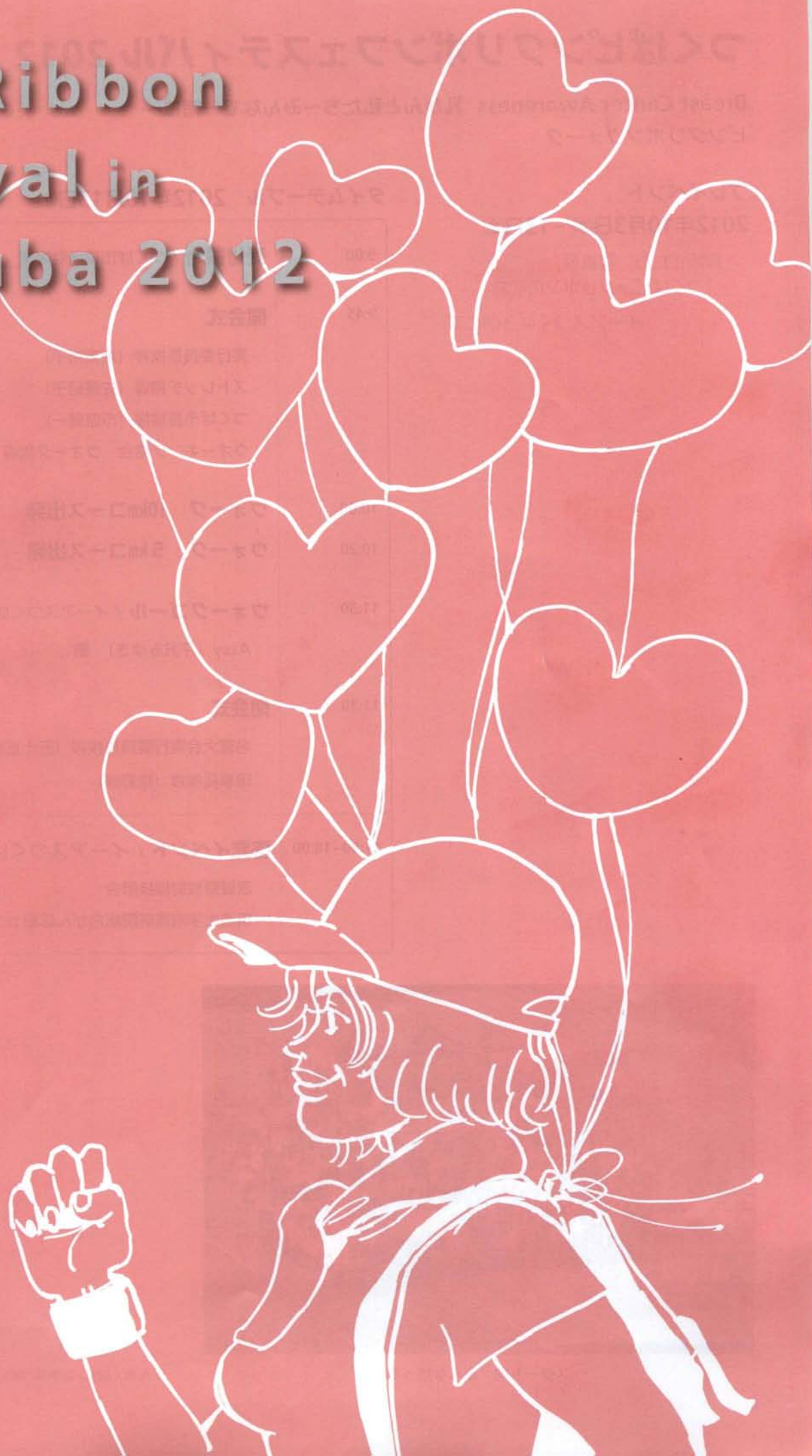


# Pink Ribbon Festival in Tsukuba 2012

## 報告書



# つくばピンクリボンフェスティバル 2012

Breast Cancer Awareness 乳がん和私たち～みんなで一緒に～  
 ピンクリボンウォーク

## プレイベント

2012年10月3日(水)～13日(土)

齋藤さだむ 写真展

「つくばピンクリボンの記録」

イーアスつくば3階にて

## タイムテーブル 2012年10月13日(土)

9:00	<b>受付開始</b> / つくば市役所駐車場
9:45	<b>開会式</b> 実行委員長挨拶 (坂東裕子) ストレッチ指導 (佐藤紀子) つくば市長挨拶 (市原健一) ウォーキング協会 ウォーク指導 (川上清)
10:00	<b>ウォーク 10kmコース出発</b>
10:20	<b>ウォーク 5 kmコース出発</b>
11:30	<b>ウォークゴール</b> / イーアスつくばイベントプラザ Assy (芹沢みゆき) 歌
12:30	<b>閉会式</b> 名誉大会実行委員長挨拶 (五十嵐徹也) 理事長挨拶 (植野映)
11:00-18:00	<b>啓発イベント</b> / イーアスつくば3階 茨城県放射線技師会 筑波大学附属病院総合がん診療センター



スタート前 みんな揃って

発行：NPO 法人つくばピンクリボンの会

写真：齋藤さだむ 他

写真・画像・記事等の無断転載、無断使用をお断りします。

## ♥ ピンクリボン運動について

植野 映

つくばピンクリボンの会理事長／

筑波メディカルセンタープレストセンター長

皆さん、ピンクリボン運動ってなんでしょ。

ピンクリボン運動の目的は“乳がんを早期にみつけば乳がんは治るんだ”ということの啓発活動です。この概念をより多くの市民に知っていただきたいとの願いから起こった運動です。

私が研修医のときは病棟勤めでした。当然ながら再発乳が



乳がんをぶつつせ！

んの方が多くいられました。病棟で治療を行っている乳がんなんて治らないんだと思ってしまいます。ところが上級医になり外来診療を任せられると乳がん罹患したにも関わらず完治した方が多いことに気がつきます。気がつくというよりは喜びが湧きおこってきたのを鮮明に覚えています。

ある医師は、乳がんは全身病だといいます。確かに全身病といってしまうえば乳房切除を行っても乳房温存療法を行っても生命的な予後に関しては同じですね。でも、ほんとうでしょうか？10年生存率では分からないという人もいます。最終的には20年、30年経過すればどこかに再発してくると述べる医師もいます。確かに20年後、30年後の再発の方はいますがこのような例は少数です。私は筑波に赴任して来年の1月で30年となります。筑波大学を通して地域の乳がんの方々を多く診療してきました。すでに術後20年以上経過した方は700名以上になりますが、多くの方は乳がんからは解放されています。決して早期から全身病というわけではありません。全身病から局所病のまままで留まっている幅広い病気と思います。

薬物療法の発展に伴い、術後の生存率の改善は認められ、私たちに朗報をもたらしました。しかしながら、現在のところ薬物では癌を完全に撲滅することはできません。最も根本的に癌を根絶できるのは早期に発見し、転移をきたす前に手術的に完全に切除することです。乳がんの初期では、症状は絶対ありません。それゆえに初期の乳がんを発見するにはマンモグラフィや超音波あるいはMRIのような画像診断による検診が必要なんです。

これらを踏まえて更に女性の皆様に乳がん検診の重要

性を啓発できればと思っています。手段は問いません。講演による啓発、ウォーク等イベントを通じた啓発、なんでも結構です。

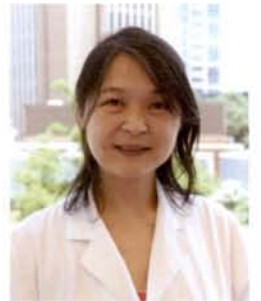
いまだに乳がん検診を受ける女性は5人に一人です。悲しくなるほどに進んでから私たちの病院を患者さんが訪れています。4人のうち一人は手遅れの状態です。皆さん、声を大にして啓発してください。

## ♥ つくばピンクリボン 2012 をふりかえって

坂東 裕子

2012実行委員長／筑波大学大学院医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科

2012年10月13日朝、起きてみるとどこまでも青く晴れわたった秋空に、心が浮き立ちました。こんなさわやかな陽気に恵まれるなんて、雨女の私には考えられないことであり、この日を楽しみに準備していただいた皆様のおかげと、朝から胸いっぱいでした。



今年のつくばピンクリボンフェスティバルのメインイベント「ピンクリボンウォーク」は、まるで滑走路かと思うほど広い新つくば市庁舎の駐車場をお借りして、スタートいたしました。

今年は大掛かりなものではなく、参加者もスタッフもみんなと一緒に気軽に楽しめるフェスティバルをしたいと思っておりました。「ピンクの風船片手に、乳がん検診をアピールしながらみんなで楽しく歩きましょう。」というささやかな企画に、300人も集まったらすごいね、と言いながら準備を進めておりました。実際には用意した飲み物が足りなくなるほど予想の以上の参加者にお集まりいただき、うれしい誤算でした。赤ちゃん連れ、お子さん連れのご家族での参加も多く、ほがらかな微笑ましいウォークとなりました。

開会式では、お忙しい中、市原つくば市長にお越しいただきました。検診の重要性、女性の命についてユーモアを交えた楽しいご挨拶をいただきました。準備運動も万端です。まずは、10キロコースが出発し、続いて5キロコースも出発しました。ウォーキング協会の川上さんに監修いただいたコースは、安全面も配慮され、誘導もスムーズでベビーカーの赤ちゃん連れから、70代(以降?)の高齢の方まで楽しくつくばの街を歩きました。参加者はおそろいのピンクリボンTシャツをはおり、手にはピンクの風船をもっていたので、道行く人や車にも十分にアピールできたと思います。また植野先生と森島先生に救急対応として自転車車で伴走していただきました。五十嵐筑波大学附属病院院長・名誉大会実行委員長、水谷理紗選手(乳腺甲状腺内分泌外科)二人のランナーが10kmおよび5kmの両コースを颯爽と走りぬけてゆく

**主催** つくばピンクリボンフェスティバル 2012 実行委員会  
**NPO 法人つくばピンクリボンの会 Tsukuba Pink Ribbon Coalition**

**名誉大会長** 市原健一 / つくば市長

**名誉大会実行委員長** 五十嵐徹也 / 筑波大学附属病院長

**大会実行委員長** 坂東裕子 / 筑波大学大学院医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科

---

**共催** 茨城乳腺疾患研究会、茨城県保健福祉部保健予防課、つくば市、認定 **NPO 法人** 乳房健康研究会、公益財団法人茨城県総合健診協会、社団法人茨城県放射線技師会、財団法人茨城県メディカルセンター、公益財団法人筑波メディカルセンター、特定医療法人つくばセントラル病院、医療法人社団筑波記念会筑波記念病院、公益財団法人日立メディカルセンター、茨城県医師会、取手北相馬保健医療センター医師会病院、総合病院土浦協同病院、筑波大学附属病院、大和ハウス工業株式会社 イーアスつくば

---

**後援** 茨城県ウオーキング協会、**NHK** 水戸放送局、公益社団法人茨城県看護協会、土浦ケーブルテレビ株式会社 **J.COM** 茨城、財団法人研究学園都市コミュニティーケーブルサービス (**ACCS**)

---

**協賛** 医療法人社団筑波記念会筑波記念病院、二の宮越智クリニック、財団法人 茨城県メディカルセンター、医療法人おおたしろクリニック、岩佐医院、永田歯科医院、社団法人石岡市医師会石岡市医師会病院、前島レディースクリニック、医療法人広翔会貝塚みずき野クリニック、土浦産婦人科、医療法人社団新岳会研究学園クリニック、中外製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、日本イーライリリー株式会社、塩野義製薬株式会社、サノフィ株式会社、武田薬品工業株式会社、アストラゼネカ株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、協和発酵キリン株式会社、小野薬品工業株式会社、エーザイ株式会社、日本化薬株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、ファイザー株式会社、 Bristol・マイヤーズ株式会社、久光製薬株式会社、株式会社ヤクルト、東芝メディカルシステムズ株式会社、株式会社カスミ、関彰商事株式会社、ユコー株式会社、有限会社宮島達男事務所、東洋羽毛北関東販売株式会社、つくば学園ロータリークラブ、株式会社横山印刷、株式会社桃谷順天館、塚本工業株式会社、株式会社イセブ、株式会社アートネイチャー、スーパースポーツゼビオドームつくば学園東大通り店、常陽ぷらざ株式会社、広沢グループ会長広沢清、**Assy** (芦沢みゆき / シンガー)、利根コカ・コーラボトリング株式会社、くるみの会 (筑波大学附属病院乳がん患者会)、たんぼぼ会 (土浦協同病院乳がん患者会)、森の会 - 筑波メディカル・ピンクリボンの会

(順不同)

会場は、イーアスのフードコート前でしたので、大変人通りも多く、たくさんの方が足を止められて見ていただきました。親子連れや、恋人達、家族連れが、素敵なピンクの風船の写真に足を止めていただきました。大勢の方々に、つくばピンクリボンの会の活動や、ピンクリボンフェスティバルの様子を見ていただくとても良い機会になったと思います。

今回の写真展を行うにあたり、会場を提供して下さったイーアスつくば様に感謝と御礼を申し上げます。これからも、どうかピンクリボン活動にご理解とご協力をお願い致します。



イーアスつくば3階

## ♡ 放射線展

坂井 朋夫

茨城県放射線技師会

茨城県放射線技師会ではフェスティバル当日、啓発イベントとして、つくばイーアス3階で11時から18時まで放射線展を開催しました。

～小さな乳がんでも発見できます～ をテーマにマンモグラフィ・超音波・MRIの検査についてパネルや実際の写真を展示して乳がん検診の受診啓発を行いました。

人通りの多いフードコート前という絶好の場所をイーアスさんに提供していただいたおかげで当日は100名近くの方が展示ブースに立ち寄りくださり、熱心に説明を聞いてくださいました。ほとんどの方が乳がん検診を受診したことが無いとのことで「マンモグラフィって名前は聞けけれど実際はどんな検査なの?」「マンモグラフィと超音波は両方受けた方がいいの?」など様々な質問が寄せられました。説明を聞いた後では、「次回は受診してみます」とのお言葉をいただき、啓発の手ごたえを感じました。まだまだ検診の受診・早期発見の重要性についての啓発が不足している事を実感しました。

茨城県放射線技師会では今後ともつくばピンクリボンの会とともに乳がん検診受診の啓発活動を続けていきます。

## ♡ ウォーキング

川上 清

茨城県ウォーキング協会 副会長

前年から傾向は見えていたのですが、今年の大会はウォーキングがフェスティバルの中心になると言うことが伝わっており、実行委員会にも、その前提で参加しました。坂東委員長、中野実行委員との連絡も進み、肝心のコースが決まって行きました。

昨年までは、取りあえず参加すれば形が整っていたウォーキングが今年は、しかと責任体制が整わなければならないとの責任を感じ、茨城県ウォーキング協会内で各団体に協力を求めました。その結果、開催当日には31名のスタッフ参加が得られ、目的の人員体制が整って無事ウォークレイドの役目を終えることが出来ました。

この日はこれ以上無い好天に恵まれたことと、参加の皆さんが著しい発展を続けている研究学園駅につながる新しいコースを我が町との感覚で楽しんで歩かれたことが喜ばしい結果を呼びました。参加の皆さん、完歩おめでとうございます。お疲れさまでした。

なお 当協会内参加団体は個人の会9名、牛久ウォーキングクラブ8名、古河悠歩の会3名、水戸歩く会11名でした。引き続き大会に来年のより盛会ならんことを期待しましょう。



啓発ブース イーアスつくば3階

姿は眩しいばかりでした。私も2歳及び3歳の息子や娘とともに5kmコースを楽しみました。ゆっくりとつくばの街中を歩きながら、こうした幸せな時間が持てるのも、健康あってのものであると、しみじみと感ずるのでした。

イーアスつくばのご協力で、ゴールはイーアスのイベントプラザに設置しました。ゴールする人々をアッシーさんのさわやかな歌声が癒してくれました。イーアス3階には茨城県放射線技師会および筑波大学総合がん診療センターが乳がんやマンモグラフィ検診などに関する情報提供をおこなっていただきました。齋藤さだむさんの素敵な写真展も多くの方の目を惹きつけていました。またイーアスの各店舗スタッフの皆様には手製のピンクリボンバッジをつけていただき、イーアスつくば全体もほんのりピンク色に染まったかのようでした。

私を含め、参加者の皆さんそれぞれが、ウォーク日和、ピンクリボン日和を堪能できたのではないのでしょうか。参加下さった皆さんの笑顔が、なによりも良い検診のPRになったかと自負しております。

8月に今年のポスターが刷り上がった時、前を向き力強く歩む女性の横顔に、つくばピンクリボンのスピリットを重ねました。前向きに一緒に進んでゆくことが、いかに大切で大きな力を生むことが再認識いたしました。最後になりましたが、この活動にご賛同下さり、惜しみなくご尽力くださいました関係者の皆様にご心より感謝申し上げます。



開会式

## ♥ 一緒に歩こう！

文 由美

秋は唳々と空に鳴り、という詩のフレーズを想起させる、さわやかな秋の空の下、2012年のつくばピンクリボンフェスティバルのウォークはつくば市役所からスタートしました。新緑のつくばも美しいのですが、空が高くなる秋のつくばも素敵です。10月はピンクリボン月間です！私自身としては、ついにウォークデビューです。これまで幾度もピンクリボンフェスティバルに参加させていただきながら、ウォークには一度も参加した

ことがなかったのです。

今年のウォーク参加人数は301人、10キロウォークは112人、5キロウォークは189人でした。ピンクのハートバルーンや乳がん啓発の横断幕を手に手に、各人がいろいろな想いを胸にゴールのイーアスをめざしました。たまたま私の隣を歩いていらした方は、まだウィッグをつけていらっしゃる化学療法後に手術を受けた患者さんでした。術後やっと元気が出てきたので、がんばってみたい、と参加して下さったのです。5キロって大変かと思ったけれど、大丈夫でした、と微笑んでくださいました。この方だけでなく、乳がんサバイバーの方、そのご家族の方もたくさん参加していらっしゃいました。老若男女、ベビーカーや幼稚園生、小学生も参加していましたが、皆無事にゴールしました。

つくばピンクリボンフェスティバルは乳がん検診を啓発するイベントですが、乳がんを患った方を支援するためのイベントでもあります。みんなで一緒に、乳がん撲滅に向けて、もっともっとアピールしていきたい！と改めて心に誓う一日となりました。

ウォーカーの皆さん、スタッフ、ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。また一緒に、歩きましょうね！



これから出発

## ♥ 写真展 「つくばピンクリボンの記録」

中野 潤子

実行委員

つくばピンクリボンフェスティバルは、8回目を迎えました。今回は、ウォーク中心でイーアスを中心にして行うため、「つくばピンクリボンの記録」としてイーアス3階で、プレイベントとして、写真展を行いました。10月がピンクリボン月間のためと、13日のフェスティバルの案内のために10月3日～13日まで開催されました。

つくばピンクリボンフェスティバルの写真は、つくば市在住の写真家「齋藤さだむ」さんが、2005年から7年間に渡って撮り続けて来られました。膨大な写真の中から60枚の写真を選び、フェスティバル2012の案内と、過去のフェスティバルの様子を展示し、大変好評な写真展となりました。

## ♥ 元気をもらったピンクリボンフェスティバル

石川 えり子

実行委員

「検診、ちゃんと受けていればもっと早く見つかったかもしれない・・・」

後悔しても始まりませんが、昨年からずっとこの思いが心の中に残っています。

私がつくばピンクリボンの会を知ったのは、昨年乳がんの手術をした後すぐのことでした。これからの治療と生活への不安が大きかったのですが、同じ病気を抱えながら頑張っているたくさんの方たちと昨年のフェスティバルで出会うことができ、この病気と向き合う力をもらいました。だから今年のフェスティバルでは私も何かのお役に立ちたい！と思って参加させていただきました。

当日はとてもよく晴れて、気持ちの良い一日となりました。私は受付をしたのですが、赤ちゃんや小さなお子さんを連れての方、家族3世代で来ている方、お友達どうし、同じ職場の方、学生さん・・・など本当にたくさんの方々が参加されていることが分かりました。またゴールでは、ウォークを達成した素敵な笑顔がたくさん見ることができました。

みなさまそれぞれにいろいろな思いを持ちながら参加されていたと思いますが、たくさんの方と同じ時間を過ごすことができ、とても嬉しく感じました。私自身、これからも前向きな気持ちで治療に向き合い、ピンクリボン活動も頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



自作の白衣で

## ♥ ピンクリボンフェスティバルに参加して

大野 純子

初めての秋の開催となった、ピンクリボンフェスティバル。

いつもとは違った高い空と日焼けが心配になるくらい日差しの中、小さな子供から年配の方までたくさんの方々に混じってウォークに参加させていただきました。

ウォーク参加にあたり、検診の大切さをアピールするために、皆さんがそれぞれ工夫を凝らした手作りのバナーや白衣を持参する姿に、私ももう少し工夫せねばと

反省しきりです。次回はアピール力アップで参加したいと思っています。

毎年、当日に少しでもお手伝いをするだけでしたが、今回は事前準備の一端を垣間みて、実行委員をはじめたくさんの方々のご苦勞があつての開催なのだと実感いたしました。ありがとうございました。

このフェスティバルをとおして検診の大切さが、もっともっとたくさんの方々に伝わることを願っております。



## ♥ 初めてフェスティバルに参加して

赤塚 信子

今回初めて参加させていただきました。

実行委員の末席を汚していますが、先が見えず不安のうちに当日を迎えてしまいました。

当日は白日の晴天でウォーキング日和となりました。期待と不安で迎えたフェスティバルですが、微力ながらも作業に追われ新体験・新発見の一日が瞬間に過ぎていきました。その日は、心地よい疲れの中、眠りにつくことができました。楽しい時間を皆様と共有できたことをうれしく思っております。ありがとうございました。

乳がん検診の大切さを多くの皆様に知っていただき、検診率の向上をはかるために、これからも微力ながらお手伝いさせていただきたいと思っております。



## ♥ 啓発イベントについて

谷津 恵介

筑波大学附属病院総合がん診療センター（医事課）

イーアスつくば3階センターコートをお借りし、乳がん検診の啓発イベントを実施致しました。当院は、平成20年2月8日付で厚生労働大臣から「地域がん診療連携拠点病院」として指定されました。この事業の一つである普及啓発・情報提供事業の一環として開催させて頂きました。

ブースには、乳癌教育用視触診モデル、乳がん関連冊子、400個の風船、ピンクリボンを準備し、乳がん検診啓発についてお声掛けを致しました。

特にご家族連れが多く見受けられ、風船を求めていらっしゃるお子様方にはお連れ様を呼んで頂き、視触診モデルを体験してもらいました。はじめは興味本意で触っているうちに、最後には真剣な表情でしこりの確認をしている方が大勢いらっしゃいました。お昼前からはお客様が常に1組～2組程度ブースにいる状態が続き、多めに準備した風船も15時頃には全て配布終了となりました。結果としては、大変盛況なイベントとなりました。

この場をお借り致しまして、ご協力いただきました関係者の皆様様に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。



乳がんモデルにふれて イーアスつくば3階

## ♥ 受付

宮崎 満美子

エーザイ研究所

今年のピンクリボンフェスティバルは、会場を研究学園駅周辺に、そして季節を秋に移しての開催でした。当日はスタート地点のつくば市役所駐車場にテントを張って、受付を設置しました。初めての会場でしかも屋外と、これまでとは勝手が違う中での作業でしたが、設営から受付までとてもスムーズに進みました。これ以上ないくらいのさわやかな秋晴れにも助けられて、約300名の参加者をお待たせすることなく笑顔でお迎えすることが出

来ました。参加者の方々に、気持ちの良いウォークのスタートを切っていただけたのではないかと思います。

今回は勤め先の有志数名とボランティアに参加しましたが、テント設営と風船配りのお手伝いの後はウォークに合流し、楽しい半日を過ごさせていただきました。乳がんのことはもちろん、日頃の運動不足についても再認識し、あらためて自らの健康について振り返る良い機会になりました。今後もフィスティブアルを通じて、ひとりでも多くの方に乳がん検診の大切さを伝えるメッセージが届くことを願っています。

## ♥ 受付

野口 恵

実行委員

今年のピンクリボンフェスティバルは、はじめて秋に開催されました。屋外での受付でしたので、お天気が心配されましたが、当日は澄みきった青空が美しい、素晴らしいお天気に恵まれました。今回は事前受付が無かったので、どれくらいの方が参加して下さるのか、もしかしたら誰も来てくれないかも・・・と少し不安に思っていました。実際に受付が始まると、赤ちゃんから年配の方まで、たくさんの方が続々と集まってくれました。そして、何より嬉しかったのは、ご家族で参加して下さった方が多かったことです。

病気というのは、一人で背負うには、あまりに大きすぎる負担です。治療を受けて行く上で、家族（又は親しい友人）のサポートは、何にも変えられない大切なものだと思います。今回のフェスティバルをきっかけに、女性だけでなく、男性の方々にも、乳がんに関心を持って、早期発見・早期治療を心にとどめて頂けることを、願っています。

最後になりましたが、受付をお手伝い頂いた皆様に、心からお礼を申し上げます。





## ♥ つくばピンクリボンフェスティバル 2012 に寄せて

田丸 照吾

ノバルティスファーマ株式会社

まずは本年も盛況のうちに終了しましたこと、心よりお祝い申し上げます。

私は2009年よりお手伝いをしておりませんが、今年も製薬企業よりボランティアとしてバルーン作成、駐車場案内、会場誘導等といった形でお手伝いをさせていただきました。

私は今回、ゴールであるイーアスつくばでの会場誘導をさせていただきましたが、ウォークに参加されている300名以上の皆様がゴールのイーアスつくばに戻られてくる際、本当に全員が笑顔で戻ってくる様子が印象的であり、今年もこのフェスティバルのポジティブな力を感じました。

また、その笑顔を見て、製薬企業の責務である『医療用医薬品を通じ患者さんの健康とより良い生活に貢献する』ことに自分はどれだけ貢献できているのか、今一度考えなおす機会を頂いたと感じております。

このフェスティバルを通じ、乳がん検診の普及がますます広がり、今回のフェスティバルのような笑顔があふれる社会に一步でも近づくよう祈念するとともに、その活動に少しでも貢献できるよう、自分に何ができるかを考えていきたいと感じております。



## ♥ フェスティバル 2012 を終えて

小田 陽子

事務局

坂東実行委員長の指揮のもと、事務局のお手伝いをいたしました。

準備期間中の事務局は、週末ごとにぎやかにオフィスに集い、仕事を終えては食べ歩く、それは楽しい日々でした。限られた時間とマンパワーの中、必要な事項の優先順位を決め、効率を考え最短で解決にたどり着く。そのチームワークと段取りの発想には、家事や子育ての経験が大いに活かしています。

当日は、本当に気持ちのよい天気でした。参加者、スタッフ、沢山の方においでいただき、ウォークを開催出来ましたこと、各関係者の皆様のご尽力とご理解に感謝いたします。ピンクハート風船を手に、元気よく出発してゆく姿を見送り、すがすがしい気持ちになりました。イベントが終わった今もポスターを撤去するのが惜しいくらいです。これからも、ピンクリボンの活動の継続、乳がん啓発運動が広がるよう微力ですが関わって行きたいと思います。

さて、事務局のメンバーには乳がん経験者がいます。母であり、妻であり、おばあちゃんであり、働く女性達です。一緒に活動をしていく中で私は、沢山のことを学んでいます。その収穫の中から……「(たとえ、病気になったとしても) 自分の人生の舵は自分で握るもの」

乳がん検診を受けましょう!これは、私たちが掲げるシンプルなメッセージです。航海には入念な準備を。乳がんについて、無関心であってはならないのです。



オフィスで打ち合わせ





♥ 新しいスタッフジャンパー姿で



♥ 筑波山とTX



♥ 準備体操も念入りに



## ♥ 取材協力

NHK 水戸放送局  
土浦ケーブルテレビ株式会社 J:COM 茨城・  
財団法人研究学園都市コミュニティケーブルサービス  
(ACCS)  
毎日新聞社  
朝日新聞社

## ♥ 参加データ

参加者総数 390 名

ボランティア数 133 名



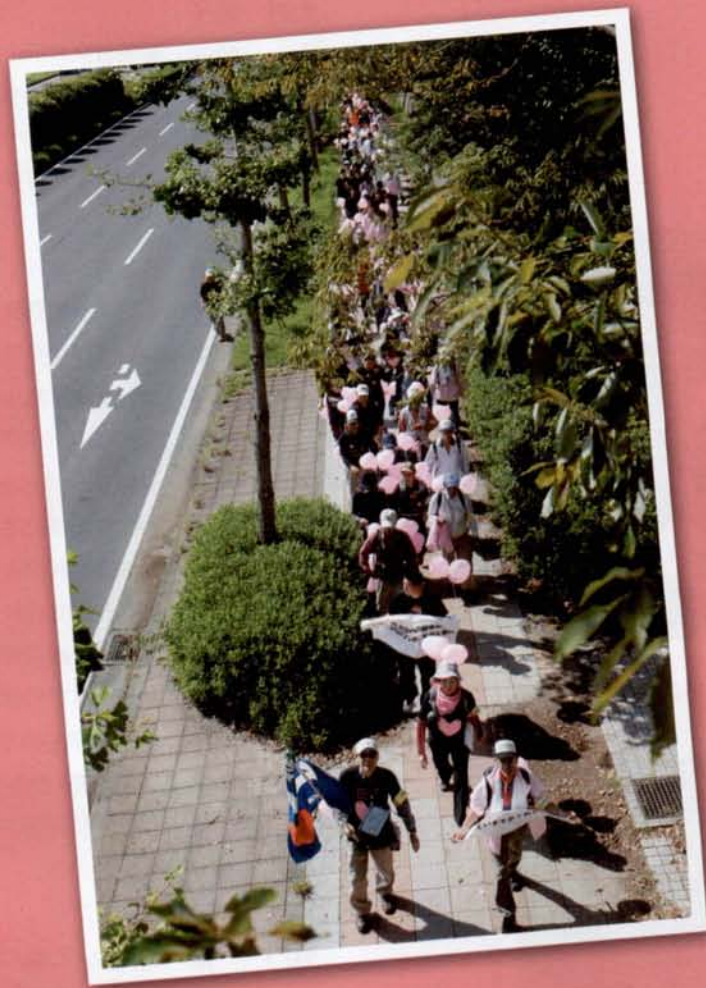
♥ 家族揃っての参加



♥ ランランラン

## ♥ 実行委員 (あいうえお順)

赤塚 信子  
五十嵐徹也 筑波大学附属病院長  
井口 研子 筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科  
池田 達彦 筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科  
石川えり子 森の会 - 筑波メディカル・ピンクリボンの会  
市村 優一 ㈲茨城県メディカルセンター  
伊東 孝子 たんぽぽ会  
植野 映 筑波メディカルセンター プレストセンター長  
梅本 剛 筑波メディカルセンター病院 乳腺科  
太田代紀子 おおたしろクリニック  
大野 純子  
大山 公一 ㈲茨城県メディカルセンター  
小田 陽子 筑波大学臨床医学系乳腺甲状腺内分泌外科 非常勤職員  
小野 幸雄 ㈲筑波メディカルセンターつくば総合健診センター  
貝塚 広志 貝塚みずき野クリニック  
春日 晴夫  
川上 清 茨城県ウオーキング協会  
小仁所圭子 石岡市医師会病院  
坂井 朋夫 東京医科大学茨城医療センター放射線部  
佐々木京子 筑波メディカルセンター病院 乳腺科  
鈴木 武樹 取手市医師会取手北相馬保健医療センター医師会病院  
高木 聡 ㈲日立メディカルセンター  
高久 真理 大和ハウス工業株式会社/イーアスつくば イーアスつくばオフィス  
高村 祐子 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科  
竹原 陽子 カスミ株式会社  
辰見 政徳 ㈲茨城県総合健診協会  
田中佐代子 筑波大学芸術学系  
田中 優子 筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科  
東野英利子 筑波メディカルセンター つくば総合健診センター  
永田 修 永田歯科医院  
中野 潤子 くるみの会  
根本 礼子  
野口 恵 森の会 - 筑波メディカル・ピンクリボンの会  
原 尚人 筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科  
坂東 裕子 筑波大学医学医療系乳腺甲状腺内分泌外科  
平井 理心 筑波大学附属病院 医療メディエーター  
文 由美 つくばセントラル病院外科  
前島 朋子 前島レディースクリニック  
前島 正基 前島レディースクリニック  
光畑 桂子 筑波メディカルセンター つくば総合健診センター  
宮崎満美子 エーザイ株式会社  
森島 勇 筑波メディカルセンター病院 乳腺科  
谷津 恵介 筑波大学附属病院総合がん診療センター  
山田 光子 茨城県つくば美術館内 ミュージアムショップ a  
山田 陽子 森の会 - 筑波メディカル・ピンクリボンの会



NPO法人つくばピンクリボンの会  
Tsukuba Pink Ribbon Coalition

〒305-0005 つくば市天久保1-1-1 筑波メディカルセンター西館2F Tel & Fax: 029-856-2002

